事業名

劇団福祉座公演

実施団体名

劇団福祉座

事業の目的

地域に根差し地域に息づく人々を人情時代劇仕立てで描き、人を思いやる福祉の心を伝えるとともに、お芝居を通して故郷を見直し愛着心を高めることを目的とする。

事業の概略

- ・公演日：令和元年 6 月 30 日
- ・会場：北名古屋市文化勤労会館大ホール
- ・外題：赤穂浪士の怨念か 亥の大変 銀次郎 庄内川に鬼火を見た 全 5 景
- ・その他：会場に詰め掛けた約 400 名の皆様に、江戸時代宝永年間に発生した宝永大震災(亥の大変)、続いて起こった富士山大爆発(亥の砂振り)で被災した岩倉街道筋の人々が力強く生きる姿を描いた。

事業の効果・成果

梅雨時の公演で大雨の予報もあり、客足は伸び悩んだが、実施したアンケートに以下の感想をお寄せいただいた。今後とも、このようなご声援をいただけるように、真摯にお芝居づくりに取り組んでいきたい。

- ・今回も楽しく感動しながらみせていただきました(50代女性)
- ・人情、笑いありの楽しい劇でした。楽しく見させていただきました(60代女性)
- ・皆さん長いセリフを大変でしたね。年々素人とは思えないほど、素晴らしかったです(70代女性)
- ・いつも楽しみにしています。素人とプロ？感じがすごく良くて、毎回、笑ったり涙出しています。これからも末永く頑張ってください(50代男性)

- ・ストーリーが難しい。ミュージックの音をもう少し小さく(70代男性)
- ・すごく勉強になりました。もらい泣きしてしまいました(70代女性)
- ・いつもあたたかいお芝居有難うございます。色々な時の話題、笑ったり怒ったり私たちの中にも入ってきます。次回作を待っています(70代女性)
- ・とてもすばらしかった(50代男性)

事業を実施しての問題点

特に問題はありませんが、公演を成功裏に終えるには、年代・職種・性別が異なる、役者さん・スタッフの皆さんがひとつになることが肝要だと思います。流行りの言葉でいう、one team です。問題が出たら、one team で乗り切っていきます。

事業の課題・今後の展望

公演に係る経費をどう賄うのか、福祉座の前にはだかる大きな課題です。幸いにして、令和2年度は、三菱UFJ信託地域文化財団の事業採択を受けることができました。次年度以降も、課題を乗り越えるべく努力したいと考えています。